

REPORT. II

特集：富士山とともに [富士急行と富士山麓観光]

富士とともに、 この地とともに

富士山が世界文化遺産に登録されて1年。富士山麓には国内外から大勢の観光客が訪れ、活況を見せている。創業以来、世界に誇る富士山とその周辺エリアの観光開発に取り組んできた富士急行は、外国人観光客の受け入れ体制の整備やサービスの拡充など、さまざまな課題に対応しながら、世界文化遺産にふさわしい地域づくりを推進している。富士急行の現在の取り組みを紹介する。
(2014年4月末に取材。役職などは取材時のものです)

文●茶木 環／撮影●織本知之
写真提供●富士急行株式会社

世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」 構成資産一覧表

名称	県名	国指定文化財の種別
① 富士山城	静岡県・山梨県	特別名勝、史跡
①-① 山頂の信仰遺跡群	静岡県	特別名勝、史跡
①-② 大宮・村山口登山道 (現在の富士宮口登山道)	静岡県	特別名勝、史跡
①-③ 須山口登山道 (現在の御殿場口登山道)	静岡県	特別名勝、史跡
①-④ 須走口登山道	静岡県	特別名勝、史跡
①-⑤ 吉田口登山道	山梨県	特別名勝、史跡
①-⑥ 北口本宮富士浅間神社	山梨県	史跡※1
①-⑦ 西湖	山梨県	名勝
①-⑧ 精進湖	山梨県	名勝
①-⑨ 本栖湖	山梨県	名勝
② 富士山本宮浅間大社	静岡県	史跡※2
③ 山宮浅間神社	静岡県	史跡
④ 村山浅間神社	静岡県	史跡
⑤ 須山浅間神社	静岡県	史跡
⑥ 富士浅間神社 (須走浅間神社)	静岡県	史跡
⑦ 河口浅間神社	山梨県	史跡
⑧ 富士御室浅間神社	山梨県	史跡※2
⑨ 御師住宅 (旧外川家住宅)	山梨県	重要文化財
⑩ 御師住宅 (小佐野家住宅)	山梨県	重要文化財
⑪ 山中湖	山梨県	名勝
⑫ 河口湖	山梨県	名勝
⑬~⑯ 忍野八海	山梨県	天然記念物
⑰ 船津胎内樹型	山梨県	天然記念物
⑱ 吉田胎内樹型	山梨県	天然記念物
⑳ 人穴富士講遺跡	静岡県	史跡
㉑ 白糸ノ滝	静岡県	名勝、天然記念物
㉒ 三保松原	静岡県	名勝

※1 本殿、西宮本殿、東宮本殿は重要文化財 ※2 本殿は重要文化財

特集：富士山とともに

[富士急行と富士山麓観光]



差別化戦略で事業展開

富士山を中心とする山麓一帯における富士急行の観光開発は、富士急ハイランドから河口湖周辺一帯に広がる国立公園の一部・富士北麓と富士南麓、二つに大別される。ともに遊園地やホテル、温泉施設、ゴルフ場やスキー場などのスポーツ施設、別荘地などが集中し、一大リゾートエリアを形成している。

山中湖・河口湖・本栖湖・西湖・精進湖を総称する「富士五湖」という呼び名は、富士急行の創業者である堀内良平が富士北麓の景勝を宣伝しようと名付けたものだ。以来、富士急行は富士五湖を起点に開発を進め、富士山観光を牽引してきた。一大リゾートエリアを形成し、成熟期を迎えた近年ではソフト面にも注力。「山Ⅱ夏」という観光客の固定観念を一掃する、通年型の観光地づくりに一つの方向性を見いだしている。

今年で7回目を迎えた「富士芝桜まつり」は、冠雪の富士山と芝桜を楽しむ春の祭典だ。富士本栖湖リゾート内の2・4haの広大な敷地に首都圏最大級となる約80万株の芝桜が咲き誇る。開催期間中、40数万人が訪れる富士山麓の「花の祭典」として定着した。

開催期間は4月中旬から約1カ月半。ほぼ1年がかりで準備を進める。今年は2月の記録的大雪で芽吹きが遅れたが、4月19日から6月1日まで開催。交通面でも、新宿駅に加えて新たに川崎駅・千葉駅から河口湖行きのJR直通電車を運行。各方面からのアクセス向上を図った。

「富士芝桜まつり」で春季の賑わいを図り、富士登山や富士五湖をはじめとする富士山観光のハイシーズンが終息する頃、いち早くスタートするのが富士急行のウィントースポーツだ。富士急ハイラ



富士急行株式会社
専務取締役 専務執行役員
交通事業部長

堀内哲夫
Tetsuo HORIUCHI

富士山観光を広げ高める

ンドでは毎年関東の屋外スケートリンクのトップを切って「クリスタルラグーンリンク」を開業。滑りやすく安定感のある2枚刃スケート靴の貸し出しや夜間のイルミネーションなど、アミューズメント感覚あふれるスケートリンクを提供している。

南麓エリアでは、屋外スキー場「イエティ」が日本でいちばん早く10月にオープンする。また、より首都圏に近く、近年開発を進めている相模湖周辺では、400万株のイルミネーションを使用して冬の祭典「さがみ湖イルミリオーン」を開催。各エリアでシーズンレスのリゾート開発を進めている。

一方、富士急ハイランドに隣接して、昨年新設したのが、入場料無料の「リサとガスパールタウン」だ。フランスの人気絵本「リサとガスパール」のテーマパークで、



富士急行株式会社
専務取締役 専務執行役員
グループ事業部長兼不動産事業部担当

福重隆一
Takaichi FUKUSHIGE

ファミリィや若い女性層の集客を狙う。さらに、富士急ハイランドのオフィシャルホテル「ハイランドリゾートホテル&スパ」内の富士山を展望できるレストラン「フジヤマテラス」では、地産地消として山梨県産のワインや食材を提供するなど、通年型観光を推進するとともに、サービスの多様化によって、観光客層の拡大に取り組んでいる。

グループ事業部長兼不動産事業部担当の福重隆一専務取締役は「少子高齢化の中でいかにソフトを充実させて、お客さまのニーズを高めていくかが重要だと考えている。付加価値を加えた差別化戦略にのっとり、当社ならではのサービスを充実させている」と語っている。

世界遺産効果とインバウンド対策

昨年6月の富士山世界文化遺産登録後は、円安やビザの規制緩和、東南アジア諸国の経済成長など複数の要因と相まっ

特集：富士山とともに

【富士急行と富士山麓観光】



1富士山を背景にスイスをイメージした駅であるとして、河口湖駅は、1997年「関東の駅百選」に選定されている。富士急行線の中でも、特に外国人観光客の乗降の多い駅の一つ 2富士吉田市の中でも有数の富士山ビューポイント「新倉山浅間公園」。公園の入り口には新倉山浅間神社がある。桜の季節には富士山と桜、忠霊塔を一枚の写真におさめたいと多くの人が訪れるが、今ではここも外国人観光客に広く知られる観光スポットとなっている 34各施設における多言語表示はもちろん、富士急行では外国人観光客に対する案内サービスの充実を進めている

増加したという。ホームページ（HP）にタイ語を加えた段階でアクセスが飛躍的に増加したという。

「従来、富士急ハイランドでは、2013年度の外国人来園者数が前年度比200%に及んだ。」「従来の欧米からの観光客に加え、中国、韓国、特に最近ではタイやマレーシアなど東南アジアから訪れる観光客が多い。当社が設置する上海と台北の営業所でも、積極的に観光プロモーションを展開しているが、非常にいい手応えが返ってくる」（福重専務）

「従来、富士急ハイランドでは、2013年度の外国人来園者数が前年度比200%に及んだ。」「従来の欧米からの観光客に加え、中国、韓国、特に最近ではタイやマレーシアなど東南アジアから訪れる観光客が多い。当社が設置する上海と台北の営業所でも、積極的に観光プロモーションを展開しているが、非常にいい手応えが返ってくる」（福重専務）

「従来、富士急ハイランドでは、2013年度の外国人来園者数が前年度比200%に及んだ。」「従来の欧米からの観光客に加え、中国、韓国、特に最近ではタイやマレーシアなど東南アジアから訪れる観光客が多い。当社が設置する上海と台北の営業所でも、積極的に観光プロモーションを展開しているが、非常にいい手応えが返ってくる」（福重専務）

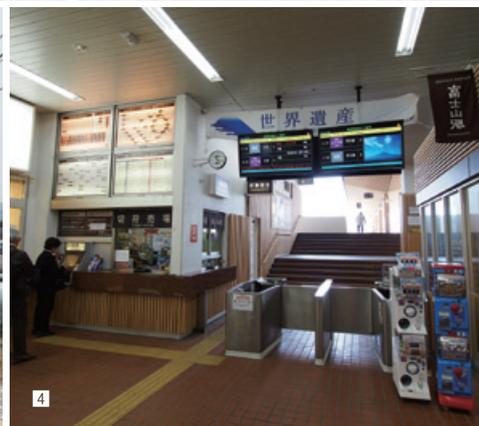
こうした国内外の観光客の移動を支えているのが、富士急行の交通事業だ。「足

さらに「最低限必要な条件は、国際電話とインターネット環境の整備」と福重専務が語るように、昨年3月には、鉄道駅や高速バス車内、富士急ハイランド内に、無料Wi-Fiスポットの整備を完了させた。これは山梨県とNTTとの連携事業で進めたもので、山梨県部の富士山麓には、宿泊施設なども含め約1500カ所に無料Wi-Fiスポットが設置されている。

特に、外国人観光客が乗降客のおよそ2割を占めるという終点の河口湖駅では、発車案内や券売機など、英語・中国語・韓国語の各国語に対応し、改札口脇には英語向けの観光案内所も開設。外国人観光客が多い河口湖駅と大月駅には、多言語に対応できるスタッフやボランティアが常駐しており、多くの富士急行社員が自己啓発の一環として外国語の習得に励んでいるという。沿線自治体も、案内所や標識などの多言語表示を進めているところだ。

こうした外国人観光客を迎え入れるインバウンド対策として、各施設で急速に進めているのが多言語対応だ。鉄道駅やバス施設、案内板、HPや観光パンフレットなどは、日本語のほか、英語と中国語（簡体字・繁体字）、韓国語で表示。また、HPや一部の施設では、タイ語の表記を追加している。

交通と観光のシナジー効果



富士山駅 1 富士山駅のシンボルとなっている朱塗りの大鳥居は、世界文化遺産・富士山の構成資産である「吉田口登山道」の出発点に位置する北口本宮富士浅間神社の大鳥居を倣った 2 屋上にはウッドデッキにテーブル席やベンチを配置した「屋上展望広場」が整備された 3 駅ホームは木材を多用したつくりで、コンクリートのホームの途中にはウッドデッキが設けられている。この位置に立つと、正面に富士山の麗姿を拝むことができる 4 改札口には最新式の電車発車案内板が設置されている

港、中京圏や関西圏と富士山

バス事業では、東京・神奈川・埼玉・山梨・静岡の1都4県に営業拠点を展開。34路線の高速バスネットワークが首都圏や羽田空港・成田空港、中京圏や関西圏と富士山

を持った総合観光企業「富士急行は、鉄道、高速バス、乗合バス、タクシーと、エリア内の交通手段すべてを網羅する。収益面では、レジャー・サービ部門が過半を占めるが、それらを下支えしているのが交通事業であり、シナジー効果によって、双方が成長を重ねてきた。

富士急行線の交通事業部門の原点である「富士山」を前面に押し出した観光客誘致を、グループを挙げて展開してきた。

「富士山駅」の誕生 富士急行線は、「富士山に一番近い鉄道」として知られる。そもそもが、富士登山や富士山麓への旅客誘致のために敷設された路線だが、この10年の間、富士急行では世界文化遺産登録を見据え、「富士山」を前面に押し出した観光客誘致を、

麓をダイレクトに結ぶ。現地での2次交通には、周遊バスや路線バス、タクシーを整備している。「足を持つ」という大きな強みを活かしていきたい。6月末には圏央道が開通し、中部横断道と新東名高速道の接続など周辺の道路整備も進んでいる。富士山麓は、さらに至近の観光地になる。当社ならではのサービスとホスピタリティを拡充し、『足を持った総合観光企業』としてこれまでに以上に富士山観光を牽引していくと福重専務は抱負を語る。

下吉田駅 1 2 1950年開業の昭和モダンのフォルムを存分に活かしてリニューアルした 3 駅舎の天井画は、長野県小布施町にある葛飾北斎の「八方脱み鳳凰図」を水戸岡氏自身が写し、アレンジした線画。壁面には、富士の絵が配してあり、その下には富士の稜線をイメージしたベンチが置かれている 4 下吉田倶楽部の出入口も、どこか昭和の時代が香る懐かしいたたずまいとなっている

特集：富士山とともに

【富士急行と富士山麓観光】



1



2



3



4



5



6



7

フジサン特急 1 元JR東日本の「パノラマエクスプレスアルプス」だった車体で、101のフジサンキャラが描かれているトーマスランド号 2 車内には子どもたちに人気の「キッズ運転席」があるマッターホルン号 3 MGB鉄道の客車のイメージカラーで人気の車両通勤車両6000系 4 FUJIKYU COMMUTER TRAINと名付けられている。富士山を表現する鮮やかな青と黄色がデザインのアクセント富士登山電車 5 6 7 「乗ってみたい民鉄有料特急」などのアンケートでは常に上位にランキングされている。ホテルのラウンジのような内装が人気で、青富士と赤富士がある。全員着席が前提の定員制で、電話またはインターネットによる予約も取り入れている

その象徴とも言えるのが、2011年7月に誕生した富士山駅だ。富士吉田駅を改名、駅舎を大幅にリニューアルして新たなスタートを切った。富士山駅周辺は、富士山信仰の面影が色濃く残り、信仰登山道として利用された吉田口登山道の入り口、北口本宮富士浅間神社がある。富士登山・富士山観光の出発点、「富士山の玄関口」となるのがこの富士山駅だ。

「富士山麓において『富士山』を駅名に使わせていただくのは、正直、非常に重く、畏れ多いことと感じたが、歴史的・地域的に見ても最もふさわしいと考え、この名を付けさせていただいた。単に改称したというだけではなく、富士登山や富士山観光のゲートウェイとして、この地域の発展のお手伝いをさせていただく責任を感じている」と、交通事業部長を務める堀内哲夫専務取締役は語る。

駅舎やロゴのデザインは、工業デザイナーの水戸岡鋭治氏によるもので、駅の入り口には北口本宮富士浅間神社の大鳥居に倣った朱塗りの大鳥居を設置。また、駅ビル屋上には、富士の眺望を楽しむ屋上展望広場を整備した。世界に向けて開かれた富士山の玄関口は、国内外から訪れる大勢の観光客で賑わいを見せている。

一方、富士山駅のリニューアルオープンに2カ月先立ち、下吉田駅には「ブルートレインテラス」とコミュニティスペース「下吉田倶楽部」が開業した。

ブルートレインテラスでは、かつて寝台特急「富士」として活躍した車両と同型の寝台客車や、富士山麓電気鉄道の開

業年に製造された貨車など富士急行線で活躍していた車両3台を展示している。下吉田倶楽部は待合室とカフェが融合した憩いの場だ。2009年、レトロモダンな駅舎にリニューアルされた下吉田駅に、新しい賑わいの場が加わった。

富士山駅と下吉田駅、どちらも観光拠点駅ではあるが、富士山駅には地元住民が利用するショッピングビル「Q-I S T A」が併設、下吉田倶楽部は地元の人たちのコミュニケーション・スペースともなっている。かつて駅が街の社交場であったように、この二つの駅も観光客と地元住民の交流の場となっている。

多種の車両で観光路線化を促進

鉄道車両では、富士山観光に訪れる観光客にとって「鉄道に乗ること」自体が一つの目的となるように、さまざまな観光電車を投入している。

2009年8月、開業80周年を機に、本格的な観光電車として誕生したのが「富士登山電車」だ。外観は開業当時の車両と同じ「さび朱色」。富士山の麓の山岳風景を1枚の絵のように楽しめる「日本一ゆたかな登山電車」をコンセプトに、水戸岡氏がデザインした。車内は木を多用したレトロモダンなインテリアで、ベンチ・ボックス席・ソファなど多様な座席やベビーサクル、サービスカウンター、ミニギャラリーなどが設置されている。2両1編成で、内装を濃茶の木と赤色を基調にまとめた「赤富士」と、白木と青色が基調の「青富士」がある。



周遊バスの乗り場には、バスルートなどをガイドする多言語表示の案内板が設置されている

この富士登山電車は、普通乗車券のほかに着席券が必要で、事前予約制。1日2往復運転し、専属アテンダントが沿線の観光案内などを行っている。

「大月駅で乗車した時から富士山ツアーが始まる。そんな電車をつくりたかった。デザインも素材も細部に至るまでこだわって仕上げられており、単なる移動手段としてではなく、車中から富士山を楽しむ、乗ること自体を目的にしていただけの電車になっている」(堀内専務)

2002年2月に運行を開始した「フジサン特急」は、パノラマ車両の2編成。101種類のフジサンキャラが描かれたユニークな車体デザインで知られているが、この夏には、そのうちの1編成が小田急ロマンスカー20000形(RSE)を改造した新フジサン特急に生まれ変わる。

普通列車も多彩な顔を見せる。1998年に富士急ハイランドにオープンしたテーマパーク「トーマスランド」にちなんで「トーマスランド号」は機関車トーマスのキャラクターが車両の内外を賑やかに彩り、子どもだけでなく大人の人気も集めている。

2006年には、スイスのマッターホルン・ゴッタルド鉄道との姉妹鉄道提携15周年を記念して、同鉄道の車両カラーと同じく赤と白で塗装した「マッターホルン号」が運行を開始した。

さらに、2012年には、通勤車両6000系が運行を開始。水戸岡氏によるデザインで、車体に走る青いラインと青い乗降扉、木を素材に使った客室の床やつり手、シートのテキスタイルなど、こだわったデザインが目を引き付ける。

「それぞれの電車がファンがついていて、電車の運転時刻を確認されるお客さまが多い」(堀内専務) というのも納得だ。

世界文化遺産をめぐる周遊バスの拡充

広域な富士山麓では、現地での移動手段が重要となり、富士急行では「鉄道や高速バスで富士山麓にお越しいただいた方々に、公共交通機関でエリア内を不自



周遊バス 1 鉄道の「乗ること」自体が一つの目的になるようにというコンセプトは、バスにも共通している。クラシカルなボンネットバスは「レトロバス」2 4月から運行を開始したバリアフリー対応の新型ノンステップ車両「オムニバス」は水戸岡氏がデザインを担当した 3 ヘッドマークを付けているのは「富士山世界遺産ループバス」

由なく回れるように整備するのが、重要な役割」(堀内専務) だと考えている。

世界文化遺産に登録された富士山に関わる文化財は、その山体だけではなく、周囲にある神社や登山道、溶岩樹型、湖沼などが構成要素・構成資産として含まれる。富士急行では、点在する富士山の構成要素・構成資産を中心に、美術館や博物館などの観光施設、観光スポットをめぐる周遊バスを整備。利用のしやすさで観光客の人気を集めている。

周遊バスのバスターミナルは、富士山駅と河口湖駅に併設している。富士山駅からは、山中湖方面を周遊する「ふじっ湖号」が発着。河口湖駅からは、河口湖周遊、河口湖・西湖周遊の二つのコースが発着しており、「レトロバス」に加えてこの4月から「オムニバス」を導入。運行本数も30分間隔から20分間隔に増便した。また、世界遺産登録後には「富士山

世界遺産ループバス」を新設。富士吉田市内の五つの構成資産をめぐる。

現在、富士急行では、これら4種の周遊バスを運行しており、1日約70便が富士山麓の各スポットへ観光客を輸送している。中でも、河口湖を周遊するレトロバスの人気が高く、20分間隔の運行でも間に合わないほどで、増発することもしばしばだ。取材日も、平日にもかかわらず乗客が多く、急ぎよ増発されていた。

「グループで『富士山』を前面に押し出し、世界遺産登録に取り組み中で、登録後の観光客の増加を予測し、周遊バスについても路線を増やすなど準備を進めていた。現在は、想像以上の旅客増となっており、便数やダイヤの検討を含め、細やかに需要に対応していきたい。国内外からお越しただくすべてのお客さまにとって、さらに利用しやすい2次交通を整備していく」(堀内専務)

外国人が利用しやすい交通機関へ

では、増加する外国人観光客については、どのような対応策がとられているのだろうか。

富士急行では2004年度から外国人観光客が利用しやすいバス交通の整備に取り組み、音声と映像の4カ国語アナウンスを導入。富士山駅・河口湖駅のアスターミナルにはバスの発車時刻を案内する4カ国語対応モニターを整備している。

また、富士山の世界文化遺産登録を受け、世界遺産の構成資産や景勝地を沿線に持つ14路線の「色分け」と「停留所のナンバリング」を実施。並行して富士山五合目の乗車券売り場・停留所の多言語化を進め、富士登山の下山間違いの9割を外国人が占めることから「下山間違えバス案内パンフレット」を作成、下山間違いの外国人登山者に配布している。

外国人観光客を対象にした多種の企画切符も販売している。「富士箱根バス」は、外国人観光客に人気のある箱根と富士五湖を周遊できるもので、新宿―富士五湖の高速バスと、エリア内の鉄道（富士急行線の一部・小田急線・箱根登山線）、路線バス、遊覧船などがフリーで利用できる。昨年度は飛躍的に売り上げ枚数が向上したという。

JR東日本と富士急行線の「Mt.Fuji Round Trip Ticket」は、都区内から大月を経由して河口湖まで乗り降り自由の企画切符（期間限定発売）。バスも富士山駅・河口湖駅―五合目間がフリーとなる。

外国人限定ではないが、JR東日本と

共同の「世界遺産・富士山フリー乗車券」は、出発駅から大月駅までのJR往復乗車券に加え、富士急行線と周遊バスが2日間乗り降り自由になる企画切符だ。

「富士五湖周辺は、観光の75%をマイカーが占めている。公共交通機関を使って周遊していただくために、JR東日本と連携、使い勝手のよい企画切符を提供している」（堀内専務）

地元住民の足を確保

観光鉄道として賑わう富士急行線だが、地元住民の通勤通学路線、生活路線としての役割も大きい。富士急行では、さらなる利用促進に向けて企業努力を重ねている。

学生を対象に、バスでは平日限定の「ウィークデー定期」を低価格で販売。富士急行線の通学定期は「高校」「大学・専門学校」の2種類があり、高校生以下は消費税増税後も通学定期の発売価格を据え置いているため、高校が約60%、大学・専門学校が約59%と、高い割引率となっている。また、65歳以上を対象に発売しているシルバーバスは9割以上の割引が設定されている。

「富士急行線の定期・定期外の人数比率は4・6と、定期利用者も決して少なくない。鉄道が地元の方々の生活を支えている。定期を買いやすい価格に設定したり、定期券の乗り越し区間の運賃を土休日

は半額にするなど、地元の方々に乗っていただく工夫をしている」（堀内専務）

さらに、富士急行線各駅―富士山駅往復切符とQ―STAお買い物券がセットになった乗車券、首都圏方面に向かう時に使ってもらふ沿線各駅―大月駅間の割引往復切符など、「乗ってもらふ」「工夫を凝らした企画切符を発売している。

沿線自治体との協働も進めている。富士吉田市では、全区間1000円の循環バス「タウンスニーカー」を運行。富士山駅を起点に、3路線を「右回り」と「左回り」で循環させている。いずれも市立病院を経由する運行形態で、このタウンスニーカーと富士急行線をセットにした割引乗車券も発売している。

同じ取り組みは、都留市でも行われている。都留市駅を起点に、市立病院や公共施設を経由する循環バスを「右回り」と「左回り」で1日6便運行。さらに、市立病院を起点に都留市駅を経由して2方面に向かう「デマンドタクシー」を運行している。自治体の決定に柔軟に対応

重ねていくだろう。

できるのも、地域に根差し、幅広い交通事業を展開する富士急グループならではの強みだろう。

「沿線人口は、減少傾向にある。鉄道としては、将来的には交流人口に頼らなければならぬだろう。観光鉄道として観光客誘致をさらに図っていく。同時に、これまでそうであったように地元の方々

の足として役割を果たし続けていく。この両輪を進めていくが、課題は歴史がある分、施設が老朽化していること。いかに安全に投資し、更新していくか。国や地方自治体のご支援もいただきながら、安全な鉄道を目指していく」（堀内専務）

今から88年前、富士山麓を世界に名だたる観光地に仕上げたいという熱意の下、開業した富士急行。その創業の精神「富士を世界に拓く」そのままに、富士急行は、富士山を世界に発信し、自らの取り組みを地域の活性化につなげている。世界遺産登録で改めて注目が集まる富士山麓だが、富士急行は地域とともに発展を重ねていくだろう。



1 2 3 沿線自治体との協働で運行する循環バスは、地域の人たちに欠かせない「足」になっている。「タウンスニーカー」は富士山駅が起点。都留市駅では、「循環バス」と「デマンドタクシー」が発着している